

佐賀関町高島及び関崎周辺地域の 自然を考える

昆虫、鳥類、ほ乳類などの動物や草花、樹木などの植物は、その地域の気候、水質、地形・地質と深くかかわりあいをもち地域ごとに独特の特徴をもっています。

今回、調査をおこなった高島及び関崎周辺地域は、多彩な海食地形と暖地性の気候により特色ある動植物が生息・生育しています。

海食地形による海食崖などには、水分の少ない岩上のわずかな土壌や岩の隙間に根を下ろす低木林があり、低地の台地には常緑広葉樹があります。豊後水道を北上する暖かい黒潮の影響により暖地植物が見られます。これらの草花、樹木は、そこを生息地とする昆虫や休息、エサ補給のための中継地として

いる渡り鳥が利用し、ウミネコは、海食地形の岩棚の上やくぼみを巣として利用しています。

人々もまた、この高島及び関崎周辺地域の自然と深くかかわっています。

潮流が早く、黒潮の影響を受け水温の変化の小さいこの付近の海域は、関あじ、関さばで代表するように優れた

漁場として地域の人々に利用されてきました。最近では、釣り、海水浴、ウミネコの観察などこの自然を利用する観光客も増えています。また、神奈川県などでその被害が問題となっているタイワンリスは、人の手によりこの地域に持ち込まれたものです。

このように高島及び関崎周辺地域は、気候、水質、地形・地質、動物及び植物などの自然を形づくる要素とそこを利用する人の活動が互いに影響を及ぼしあい、特徴のある自然となっているのです。

自然のことを考えない開発や動



豊後水道と高島



高島のウミネコ



高島のアシカ島

植物の採取、ゴミのポイ捨てなど自然に悪い影響を与える誤った活動や利用が増えていけば、いまの自然の姿を維持できずに、これらの自然は一変してしまうかもしれません。

地域の人々やそこを訪れる人は、その自然の姿を維持できるような利用を考える必要があります。

この地域の美しく、すばらしい自然に積極的にふれあい、自然に悪い影響を与えないような利用の方法を一人一人が考え、行動に移していきましょう。



関崎地域の白ヶ浜